



# 五月(大) 阜月 房宿

五月六日立夏の節より  
月命己巳八白土星の月  
暗剣殺東北方

旧三月大  
旧四月小

朔二朔月のことで、新月を指す

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	目出入	月出入	満潮	干潮
1日	水	つちのえいぬ	二黒	剣璽等承継の儀、メーデー、高岡御車山祭	廿七	大安	やぶる	参	ぶく日	4.50	3.07	18.27	21.22
2日	木	つちのと	三碧	八十八夜、奈良東大寺聖武祭、下関海峽祭(4日迄)、飛騨水無神社例祭	廿八	赤口	あやぶ	井	●	4.49	3.36	18.28	21.59
3日	金	かえ	四緑	回憲法記念日、京都伏見稲荷還幸祭、博多とんたく(4日迄)、熱海身代り不動尊五臓病封、一粒万倍日	廿九	先勝	なる	鬼	母倉	4.48	4.05	18.29	20.21
4日	土	かとうし	五黄	回みどりの日、豊川稲荷春季大祭、七尾青柏祭	卅	友引	おさん	柳	十し	4.47	4.35	18.30	20.06
5日	日	みづのえとら	六白	回こどもの日、●朔七時四五分、端午、児童福祉週間、府中くらやみ祭、旧四月小	朔	佛滅	ひらく	星	大みやう	4.46	5.07	18.30	19.46
6日	月	みづのとう	七赤	振替休日、立夏四時〇三分、一粒万倍日	二	大安	ひらく	張	母倉	4.45	5.43	18.31	19.46
7日	火	きえたと	八白	一粒万倍日	三	赤口	とづ	翼	大みやう	4.44	6.24	18.32	19.48
8日	水	きのと	九紫	世界赤十字デー、不成就日	四	先勝	たつ	軫	●	4.43	7.10	18.33	19.48
9日	木	ひのえうま	一白	愛鳥週間、笠間稲荷御田植祭、東京下谷神社祭	五	友引	のぞく	角	大みやう	4.42	8.04	18.34	20.41
10日	金	ひのひつじ	二黒	春の全国交通安全運動(20日迄)、長良川鵜飼開き、大垣祭	六	先負	みつ	亢	くゑ日	4.41	9.03	18.35	21.51
11日	土	つちのえとら	三碧	●上弦一〇時一二分、母の日、看護の日、京都松尾大社還幸祭、旧灌仏会	七	佛滅	たいら	氏	ちいみ	4.40	10.07	18.35	22.50
12日	日	つちのと	四緑	出雲大社例祭、奈良当麻寺練供養、三隣亡	八	大安	さだん	房	十し	4.39	11.14	18.36	20.41
13日	月	かえいぬ	五黄		九	赤口	とる	心	夏事よし	4.38	12.23	18.37	20.41
14日	火	かのと	六白		十	先勝	やぶる	尾	大みやう	4.37	13.31	18.38	19.41

五月は「阜月」、さつき、つじが縁乱の季節である。新緑の季節とも薫風の季節ともいい、快適な月といつてよい。この月のうち、かりりと晴れた日を「さつき晴れ」といい、爽快の代名詞として使われている。立春から数えて八十八日目ごろは茶摘みどきである。「八十八夜の別れ霜」の言葉どおり、この日から後に霜の降りることはめつたになく、霜害の心配はなくなる。珍重される新茶は、この期に霜の降りなかつた新芽茶のことである。

〔冠〕五月五日の祝日は、「こどもの日」、端午の節句である。三月三日の女子の節句に對し、この日は男子の節句といわれ、桃の節句の雛飾りに匹敵するものとして、屋外に鯉のぼり、屋内では武者人形や鎧兜(よろい)やかぶとを飾る。供える菓子は柏餅(かしわもち)やちまきで、ともに戦国時代の携帯食糧の伝統と考え

●上弦二上弦の月を指す

15日	水	みづのえ	七赤	京都葵祭、沖繩本土復帰記念日、八せん始め	十一	友引	あやぶ	箕	天おん	4.37	14.38	18.39	20.38
16日	木	みづのとうし	八白	不成就日	十二	先負	なる	斗	天おん	4.36	15.45	18.39	21.28
17日	金	きえとら	九紫	日光東照宮春季例大祭、奈良興福寺新能	十三	佛滅	おさん	牛	母倉	4.35	16.52	18.40	22.12
18日	土	きのと	一白	国際親善デー、大津三井寺千団子祭、伊豆下田黒船祭(17日・19日)、一粒万倍日	十四	大安	ひらく	女	神よし	4.34	17.59	18.41	22.53
19日	日	ひのえたと	二黒	●望六時一分、浅草三社祭、奈良唐招提寺団扇まき、一粒万倍日	十五	赤口	とづ	虚	大みやう	4.34	18.42	18.41	23.32
20日	月	ひのと	三碧	酒田まつり、福井三国祭	十六	先勝	たつ	危	●	4.33	19.03	18.42	24.06
21日	火	つちのえうま	四緑	小満一六時五九分、真宗本派親鸞聖人誕生会	十七	友引	のぞく	室	くゑ日	4.32	20.06	18.43	24.57
22日	水	つちのひつじ	五黄		十八	先負	みつ	壁	大みやう	4.32	21.58	18.43	25.38
23日	木	かえさる	六白	庚申	十九	佛滅	たいら	奎	大みやう	4.31	22.46	18.45	26.38
24日	金	かのと	七赤	神戸湊川神社桶公祭(26日迄)、不成就日	廿	大安	さだん	婁	十し	4.30	23.27	18.46	27.38
25日	土	みづのえいぬ	八白	東京上野五條天神祭、東京湯島天神祭、鶴岡化けもの祭	廿一	赤口	とる	胃	ぶく日	4.30	24.46	18.46	28.38
26日	日	みづのと	九紫	八せん終り、三隣亡	廿二	先勝	やぶる	昂	くゑ日	4.29	25.58	18.47	29.38
27日	月	きえ	九紫	●下弦一時三四分、小田原道了尊大祭、九星陰通始め、甲子	廿三	友引	あやぶ	畢	天おん	4.29	27.00	18.48	30.38
28日	火	きえとら	八白	福岡笠崎宮さつき大祭、横浜善光寺身代り不動明王祭	廿四	先負	なる	觜	天おん	4.28	28.25	18.48	31.38
29日	水	ひのえとら	七赤		廿五	佛滅	おさん	参	天おん	4.28	29.37	18.49	32.38
30日	木	ひのと	六白	一粒万倍日	廿六	大安	ひらく	井	神よし	4.28	30.37	18.50	33.38
31日	金	つちのえたと	五黄	金沢加賀百万石まつり(6月2日迄)、世界禁煙デー、一粒万倍日	廿七	赤口	とづ	鬼	五む日	4.27	31.37	18.50	34.38

「婚」昔は、この時期に婚礼をするのは少なかった。農家においてはなおのこと、嫁の手は計算済みで初春に婚姻し、できれば婚約者の手もあてにした、足入れ婚も農繁期の人手ほしさの風習であったのだろう。

〔祭〕五月一日は労働者のお祭りである「メーデー」。国際的なもので、わが国では大正九年に第一回集会を持ち、昭和十三年に中止、昭和二十一年に復活して今日に至っている。

三日は「憲法記念日」。第二次世界大戦終了後、それまでの帝国憲法に代わって、昭和二十二年五月三日から施行された「日本国憲法」の実施記念の祝日である。

四日は「みどりの日」。平成十七年祝日法の改定により決定した。平成十九年より施行される。

五日は「こどもの日」。国民の祝日としては、児童福祉の日となっている。

第二日曜日は「母の日」で、母への感謝の気持を表わそうという日である。